

議会運営委員会・議会活動活性化委員会 合同視察報告書

令和7年11月10日（月）～11月11日（火）

山ノ内町・佐久市・小諸市

議会運営委員会

議会活動活性化委員会 平出広志

1 山ノ内町議会

「予算決算審査委員会の運用について。広報委員会の常任委員会化について」

予算決算審査委員会として特別委員会の形を取っているが、実態は部会形式で総務産業常任委員会と社会文教委員会に分けて審査しており、実態としては分割審査であった。

しかし、全体委員会議での検討の場が設けられている点は当議会においても検討すべきである。

また、政策提言に準じる形で部会意見をつけており、審査の充実度が高い。

当議会においても政策提言ができるだけのレベルアップが必要であると感じた。

2 佐久市議会

「議員報酬の引き上げについて。議会BCPの策定について」

議員報酬引き上げについて

平成17年から改定されていない議員報酬の引き上げと議員定数について議員間討議や市民意見交換会などを開催し、月額56,000円の増額改定を実現した。

令和元年報酬審議会への諮問からコロナ禍の中止を経て、審議会の答申が遵守され、令和5年9月議会にて報酬条例の可決に至った。

報酬を考える視点として、活動量から、他議会との比較、公務員との比較の3点をもとに具体的な数字を提示することで成果を出すことができた、当議会にも多いに参考となった。

議会BCP（業務継続計画）の策定について

行動のタイムラインを初動期（発災直後～3日）、中期（4日～7日）、後期（8日～1ヶ月）に分け、各期における議員の行動が明記されており、発災後の対応がわかりやすく整理されている。

また、オクレンジャーなるメール配信システムにより、安否確認が速やかになされることは重要であり、当議会にも導入すべきである。

議会BCPについては当議会も策定、導入を検討すべきであると感じる。

3 小諸市議会

「議員報酬の引き上げについて」

平成 31 年の市議会議員選挙において無投票という結果を受けて、議員定数や議員報酬をテーマに市民との意見交換会を複数回実施する中で、令和 5 年検討委員会を立ち上げ、具体的に検討を開始した。

市民アンケート、識者を迎えての研修会、行政視察を経て市民との意見交換会を実施し、最終報告を本年 1 月に議長に提出し、議員全体協議を経て市民市長へ提言、報酬審議会審査を経て本年 12 月議会に議員報酬の条例改正案の提出に至った。

検討委員会の立ち上げから市民説明会開催、全員協議会での検討を経て最終報告書を作成する手順は非常にていねいなプロセスを踏んでおり今後の参考となった。

住民との意見交換により、議会活動の理解が深まることの重要性を学ぶことができた。